

オムロンヘルスケアと岩崎工業 製造工程のCO₂削減 連携

松 阪



活動を竹上市長（手前）に報告する曾根工場長（左から2人目）ら＝松阪市役所で

松阪市内に生産拠点を置く医療機器メーカー「オムロンヘルスケア」（京都府）は七月から、同じく市内に工場を持つプラスチック製日用品製造「岩崎工業」（奈良）と連携し、製造工程で排出される二酸化炭素（CO₂）の削減などに取り組んでいる。

町）で生産する血圧計の主要部品の仕入れ先を中国の部品メーカーから岩崎工業の三重ブランド（同市広陽町）に切り替えた。これにより輸送にかかる燃料や梱包資材が大幅に減り、年間三・四割のCO₂を削減できる見込みだという。

オムロンヘルスケアの曾根直樹・松阪工場長や岩崎工業の岩崎能久社長らが七月三十一日、松阪市役所を訪れ、竹上市長に活動を報告した。曾根工場長は「カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）の実現のためどんな活動ができるか考えた。地域の企業と一緒に引き続き展開していきたい」とあいさつ。

竹上市長は「松阪に進出してもらっている企業が世の中のことを考え、コトバしているのはうれしい」と話した。

（望月海希）



英検準1級の合格証書を手にする坪君＝松阪市魚町の中日新聞松阪支局

三 重

2023年（令和5年）8月2日 水曜日

6

市内調達でCO₂削減

オムロンヘルスケア 血圧計部品を岩崎工業から

独自のやり方で温室効果ガス削減を推進する松阪市久保町のオムロンヘルスケア（株）生産SCM統轄部松阪工場（曾根直樹工場長）は、部品調達先を海外から国内に切り替えて輸送に伴う温室効果ガス排出量を削減する第一歩として、これまで中国から輸入していた血圧計部品を、7月から地元松阪市広陽町の岩崎工業（株）三重ブランドに切り替えた。年間約3・4割のCO₂排出量削減が見込めるという。



には排出量65%削減（対16年度比）、50年度には（排出ゼロ）を目指す。国内主力製造拠点の松阪工場と、経営統轄部総務企画部松阪事業所（行方純一所長兼健康経営推進グループリーダー）がグループ全体のモデルとして先行的に取り組みを進めている。

一連の温室効果ガス削減計画で部品などを持つ（右から）家根谷常務、岩崎社長、竹上市長、曾根工場長、行方所長＝市役所で

は、分散した生産工程を集约することで労力や照明・空調のエネルギー消費を削減したりするなど、さまざまな取り組みを進めている。今回は、その一環として部品の輸送に伴うエネルギー消費の見直しに着手した。船で遠路輸送する際に必要な大量の緩衝材なども使わずに済み、ごみも減らせるという。

岩崎工業（本社＝奈良県大和郡山形市）は、もともプラスチック製日用品メーカーだが、18（平成30）年から医療機器の製造にも乗りだし、20（令和2）年には医療分野の国際マネジメント規格ISO13485を取得している。

今回は血圧計の主要部品であるグランドハウジング（本体の外側など）、プラスチック製の3部品をオムロンヘルスケア松阪工場に納めることにな

元気で躍進
地域経済